

●高砂市における台風12号(平成23年9月)の概要

◆最高降雨量

累加雨量	1時間降雨量
335.0mm 【沖浜ポンプ場】	87.5mm (4日1時～2時) 【荒井ポンプ場】

◆4日の潮位

1時40分	満潮：114.4cm
8時32分	干潮：20.3cm

◆被害の状況

(平成23年12月14日時点の認知数)

半壊	1棟
床上	625棟
床下	2,902棟
店舗等	388棟
合計	3,916棟

平成23年台風12号浸水実績

床上浸水	■
床下浸水	■
土砂くずれ	■
河川	■

姫路市

内水ハザードマップ

●このマップは、平成23年台風12号：1時間最大雨量87.5mm（荒井ポンプ場）、総降雨量9月1日から9月4日6時335.0mm（沖浜ポンプ場）の浸水実績データを反映しています。したがってこの想定（実績）を超える大雨が降った場合、河川が氾濫・決壊した場合、またポンプの運転調整をした場合などを考慮していませんので、実際の浸水区域や浸水深がこのマップより大きくなる可能性があります。自主避難の目安として活用し、早めの避難を常に心掛けてください。

●平成23年台風12号は、8月25日にマリアナ諸島付近で発生した大型の台風で、発生後、徐々に発達しながらゆっくりと北上し、強い勢力を保ったまま9月3日に高知県北部に上陸。その後も速度を速めることなく、四国地方、中国地方を縦断し、4日未明に日本海へと抜けましたが、大型で動きが遅かったために、長時間台風周辺に非常に湿った空気が流れ込み、西日本から北日本にかけて、広い範囲で記録的な大雨となり、1時間雨量としてアメダス観測史上1位を更新しました。大雨による住家浸水、土砂災害、河川氾濫等により、全国各地で甚大な被害をもたらしました。高砂市においては、4日0時から1時の間に50mm程度、1時から2時までの間に80mm前後の大雨に見舞われたことに加え、満潮と重なり、潮位が高くなったために、内水排除施設の限界を超え、多くの被害をもたらしました。

土砂災害

土砂災害警戒区域	■
急傾斜地	急傾被害 ■ 急傾斜面 ■
山腹崩壊危険区域	■
崩壊土砂流出危険区域	■
崩壊土砂流出危険流路	■
土石流警戒区域	■
土石流警戒流路	■

加古川市

施設等

避難所	●
一次避難地	○
一時避難所	○
広域避難所	○
緊急輸送路	—
臨時ヘリポート	Ⓜ
市役所	Ⓜ
警察署	Ⓜ
消防署	Ⓜ
高砂市民病院	Ⓜ
水位計	■
雨量計	■
アンダーパス	—

0 500 1000 1500 2000 2500m